

麻しん（はしか）患者の発生について

- 令和7年3月24日に奈良県内で麻しん患者の届出があり、奈良県保健研究センターで検査を実施したところ、麻しんと確定しました。
- 奈良県において当該患者の行動調査を進めた結果、感染可能期間に府内施設を利用しており、府内の不特定多数の方に接触している可能性が高いことが判明したため、広く注意喚起をお願いします。

1 患者の概要

- (1) 年齢・性別 : 70代・男性
- (2) 経過

3月17日(月) 発症(咳、鼻汁、発熱、発疹)

3月22日(土) イオンモール高の原を利用

3月23日(日) 奈良県内の医療機関に入院

3月24日(月) 麻しん発生届(臨床診断例)受理(奈良県)
奈良県保健研究センターにおける遺伝子検査の結果、
麻しん陽性確定

2 感染可能期間(3月16日(日)以降)に利用した府内施設

日付	滞在時間	施設等
3月22日(土)	昼頃から夜まで	イオンモール高の原 主に4Fフードコートを利用

※奈良県内での行動については、奈良県の報道発表を御確認ください。

奈良県 HP : <https://www.pref.nara.jp/item/320817.htm#itemid320817>

※商業施設への直接の問い合わせは控えください。

3 府民の皆様へ

麻しん(はしか)の潜伏期間は約10日(最大21日間)のため、最終接触後3週間(21日間)の間に症状(高熱・発疹・咳・鼻水・目の充血等)が現れた場合は、必ず事前に医療機関へ電話で連絡し、麻しん(はしか)の疑いがあることを伝え、医療機関の指示に従って受診してください。

なお、受診の際は公共交通機関の利用を控えてください。

4 報道機関の皆様へ

感染症法の趣旨に則り、個人情報保護の観点から患者やその家族・関係者等が特定されないよう、特段の御配慮をお願いいたします。

(次頁あり)

【麻疹（はしか）について】

1 麻疹とは

麻疹は、空気感染、飛沫感染、接触感染により感染します。感染性が非常に高く、今まで麻疹にり患したことのない人や麻疹のワクチンを接種したことのない人が麻疹ウイルスに暴露されると、ほぼ100%感染すると言われています。感染すると、約10日後に発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が現れます。その後、一旦熱は下がるが、再び高熱が出て顔・首・全身に発疹が現れ4～5日間続きます。症状は、7～10日で回復します。感染力のある期間は、発症の1日前から、解熱後の3日後までとされています。

2 注意喚起

麻疹は感染力が強いため、手洗い、マスクでは予防できません。麻疹を予防するためには、MRワクチン（麻疹風疹混合ワクチン）の接種が最も有効です。定期予防接種を未接種の方は早急に接種をご検討ください。

麻疹を疑う症状がある場合は、事前に医療機関に電話で麻疹の疑いがあることを伝え、早めに医療機関を受診してください。

（参考） 麻疹・風疹（MR）予防接種定期接種対象者

第1期…生後12月から24月に至るまでの間にある人

第2期…小学校就学前の1年にある人※（いわゆる幼稚園等の年長に相当する人）

※令和6年度：平成30年4月2日から平成31年4月1日生まれの方

本 件 に 関 す る 問 い 合 わ せ 先

075-414-4723